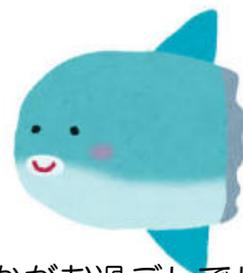


まんぼう通信

平成27年10月1日 No.12



皆さん、おばんでございます。日増しに秋の深まりを感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？秋の食材豊富なこの気仙沼を楽しんでいますか？あの暑さが嘘のように朝晩が冷え込んで参りました。体調を崩さぬよう努めていきましょう！！

さて、今回は当事業所の利用者様に対する他職種連携について、ご紹介いたします。

関節リウマチで首や手足の関節痛が強く、入院治療も経験した70代女性。日常生活動作は全介助レベルでしたが、他職種による関わりで生活に変化がみられるようになりました。医師による全身管理、管理栄養士による栄養指導や歯科医師および歯科衛生士による口腔ケア・摂食嚥下指導、リハビリ（理学療法士、作業療法士）による関節を動かさない筋力強化や痛みを出さないポジショニング指導、他職種とのケア統一など、様々な視点からアプローチをしました。食事量が増えたことで筋力も少しずつUPし、現在はベッド上での姿勢も改善、歯磨きや食事動作、書字動作などへも参加され、以前より活気ある生活をおくられています。介護士（ヘルパー）による食事の際の車いす移乗および縁側での離床、訪問入浴においても頸椎カラー装着が徹底されており、以前より安楽位で入浴が可能となりました。ここまで改善したのは、利用者様を中心にサービス提供側がチームで動けたことが大きな要因ではないかと思われます。

今後は車いす座位での外出支援なども視野に利用者様の生活の質を改善できるよう努めていきたいと考えております。



初の試み

ケアマネジャーと小さな勉強会を行いました。今回のテーマは「呼吸」。基礎的なところからスタートしましたが、沢山の情報交換ができました。また、お声掛け頂ければと思います。ありがとうございました。

